

感動をありがとう ～ガンバレを届けたい～



愛南町 いやしの郷 船越漁港
トライアスロン大会



6月7日(土)、西海地域の船越漁港周辺や旧西海有料道路などを舞台に「第3回愛南町いやしの郷トライアスロン大会」が開催され、25の都府県から305人が参加してアップダウンの激しい難コースに挑みました。

第3回大会は、約800人のボランティアスタッフ、沿道での地元住民の方々の声援が出場選手を支え、大いに盛り上がりました。

選手と応援やスタッフなど地元住民が一体となり、愛南町が熱く燃えた1日を振り返ります。

応援する人たちも、選手に負けないくらいの熱い気持ちで声援を送り続けました。



選手とのタッチに 熱い気持ち込め

沿道に立ち、「ガンバレ」の気持ちを選手とのタッチに込めました。
スイム1.5km、バイク40kmを終え、ラン10kmに挑む選手にとって、どれほどの力と勇気を与えたことでしょうか。



No136

大澤 勇人さん（愛媛県）

今回、愛南町のトライアスロン大会に初めて参加しました。

トライアスロンには何度か挑戦していますが、本当に美しい海、美しい自然、そして全力で応援してくださる素晴らしい地元ボランティアスタッフの姿に感動しました。

また、この地に帰って来たいと思いました。来年も必ず参加します。

皆様、応援ありがとうございました。



久家地区のランコースには、選手一人一人の名前が書かれた“応援旗”が登場しました。同地区の和田真代さんが気持ちを込めて作成し、地区有志が協力して取り付けました。疲れや足の痛みで歩きそうになった選手にも元気を注ぎ込みます。自分の名前を見つけて、選手の顔もほころびました。



選手名が入った手作りの応援旗は多くの選手に感動を与えました。神奈川県から参加したマーク選手はゴール直後に久家地区に戻り、レースの思い出として応援旗を譲り受けました。





No126



宮本啓太郎さん（香川県）
愛南町の皆さん、ありがとうございました。

すぐきれいな町で、皆さんの温かい声援とサポートのおかげで非常に思い出に残る大会になりました。何よりも沿道での皆さんの応援が非常に温かく、心の底から応援してくれているのだと感じました。疲れた体に元気をいただき、最後まで全力を出し切る事ができました。

ぜひ来年も参加したいと思います。



いやしの郷トライアスロン大会の名物ともいえる大漁旗も選手を見守ります。大会を盛り上げようとする地元住民の方々の奮闘が光ります。

No4



小野英子さん（宮崎県）

まずは、大会関係者、ボランティア、応援して下さった愛南町の皆様に感謝申し上げます。

大会に対する住民の皆様の高さ、行き届いたおもてなし、海の美しさ、どれをとってもほかにはない最高の大会でした。皆さんがスタートリストを持って、まるで私を友達や家族かのように、名前を呼んで応援して下さったことがとてもうれしかったです。

レース後にお風呂を貸してくださいました中田さん、中田さんのお友達の皆さん、楽しい時間をありがとうございました。前日練習のときにウォーキングをしながら応援してくれたおじいちゃん、当日も大きな声で「小野さんがんばれー！」と声援をください、とても元気づけられました。これから1年しっかりトレーニングを積んで、また来年もあの難コースにトライしていきます！

No144



舛形勲さん（香川県）

愛南町でトライアスロンに参加させてもらうのも今年で3回目になります。毎年、愛南の皆さんが町をあげて応援してくださるので、私たち選手も元気をもらって走る足元も軽くなります！

こんなにも素敵な大会を作ってください。皆さんの声援に、なるべく応えるようにしているし、「覚えとるぞー！」と声を掛けていただき、とてもうれしくなりました。

また来年も愛南町の皆さんにお会いできるのを心から楽しみにしています。

ありったけの 気持ちを込めて

国内屈指ともいわれる難コースで、自己の限界に挑戦する選手に気持ちを届けたい！
その声援は、体力の限界ぎりぎりまで戦う選手に力を与え続けました。



No26

松川希代子さん（岡山県）

温かい大会でした。たくさん応援していただいて、とてもうれしかったです。

ラン最後の1周は、身体はつらいのに、ずっと走り続けていきたい、ずっと愛南にいたいと思っていました。人も自然も、本当に素敵なおとこでした。愛南の皆さん、ありがとうございました！



No10

水島ゆかりさん（岡山県）

初めて愛南大会に参加しましたが、レース中の応援がとても力になりました。バイクも4周目まですべてのボランティアの方の声かけがあり、とてもうれしく思いました。また、ランでも小、中、高校生の元気の応援で最後まで全力でレースすることができました。

地域全体で盛り上げてくださり、本当にありがとうございました。愛南大会を、全国のトライアスリートにもっともっと知ってほしいと思います。

来年も、とても楽しみっています。





長く、過酷なレースの
 終わりには
 フィニッシュした者にしか
 見えない景色がある
 あの向こう側で
 昨日よりも強い自分に
 出会えるはずー



選手の方、ボランティアスタッフや応援していただいた皆さん、お疲れ様でした。また来年、この会場でお会いしましょう。